

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



夏
カモーン!!

目次

- P2 今年の議会モニターさん
- P4 町政を問う 一般質問
- P14 追跡 一般質問のその後
- P16 議会が動く!
町民の声を町の政策につなげる

モニターさんから出される
町民の声、アイデア、発想
どれも宝の山☆☆

7月21日、中央公民館で今年度
初めてとなる議会モニターを開催
しました。

モニター15人、議員15人が4テ
ーブルに分かれ、まちづくりにつ
いての意見を交わしました。

今年度、議会が政策形成サイク
ルに則って調査を深める「町の政策・
事業」16ページをご覧ください）
について、住民視点に立った率直
な声、意見が出されました。

観光の視点では「人を呼ぶ素材
はあるのに活用できていない」「流
行を察知し、他よりも先がけた素
早い行動力がほしい」といった厳
しい意見もいただきました。

第1回 議会 モニター 会議 レポート

7月
21日

レポート



第1回モニター会議の写真です

ご紹介

今年の議会モニターさん

新)モニター20人決定!

議会は町民の声を聴き
議会の改革・活性化、
そして、まちづくりに
活かします!

芽室町議会では毎年20人の
議会モニターさんを募集し、
議会や町に対するご意見をお
聞きし、議会の活性化やまち
づくりに役立てています。

今年も20人のモニターさん
には、議会傍聴をはじめ、年
3回程度のモニター会議の参
加、また議会日よりやホーム
ページ、SNSなどに対する
意見や提案をしていただきま
す。

意見や提案を出してもらっ
ただけではなく、あまり身
近でなかった議会を、知って
もっと身近に感じてもらうこ
とも目的です。

一人でも多くの人が、まち
づくりに声を出し、参加して
もらうこと、そしてその声を
しっかり受け止め、活かすこ
とが私たち議会の仕事です。

モニターさんの今後の活動
は、紙面で報告していきます。

(農村地域公共交通)
農村地域の交通弱者は高
齢者だけでなく、
高校生も同じ。

(公立芽室病院)
定住促進と併せて
病院運営を
考えては。

(新嵐山)
町民のための施設なのか、
町外の人を呼び込む施設
なのかコンセプト
が不明確...

(商店街の活性化)
芽室にしかないものを売
る。人を呼び込むため
の仕掛けをする。

(新嵐山)
老朽化しているスポーツ
施設を整備して、スポー
ツ合宿誘致をしてみ
ては?

(社会体育施設)
プールの建て替え、修繕
は寒冷地仕様必須条
件である。

(農村地域公共交通)
農村地域から市街地に移
り住んでもらう視点も
あっていい?

(高齢者福祉)
高齢者が活動する組織を
充実する。趣味も含めて、
健康増進、地域貢献に
つながる。

<p>藤村八重子さん (南ヶ丘東)</p>	<p>高道 豊さん (東報徳)</p>	<p>加藤 順子さん (南ヶ丘東)</p>	<p>岩佐 幸治さん (幸町)</p>	<p>武藤 雅紘さん (上伏古)</p>	<p>鳥本 和宏さん (上伏古)</p>	<p>高桑 衣佳さん (桜木町)</p>	<p>佐々木玄德さん (西土狩)</p>	<p>川野 陽美さん (西園町)</p>	<p>井原 有二さん (西園町)</p>
<p>芽室町生まれですが、あまり芽室のことも知りませんが、これを機会に勉強させてもらいたいと思っています。</p>	<p>町や議会のことをまだ理解していないところも多いですが、知る良い機会として、役割を果たせるよう頑張ります。</p>	<p>芽室町は町民の声を聞く機会をよく設けています。その町民の声がどう町づくりに反映されているか見てみたいです。</p>	<p>今まで議会のことがよく分かっていなかったため、議会の傍聴や議会日よりを見て、率直に意見を言っていきたいです。</p>	<p>一芽室町民として、行政、議会をより知る貴重な機会にしていきたいと思っています。</p>	<p>モニター2年目となりました。昨年はなかなか会議、研修に参加できませんでしたので、今年は町、行政、議会に向き合って良い一年にしたいと思っています。</p>	<p>まちづくりや議会の運営について、自分の意見をしっかり持ち、発言できるように1年間務めたいと思っています。</p>	<p>2年目ですが、まだ議会に参加できていないので、参加することを目標にモニターとして協力できたらと思っています。</p>	<p>一町民としてまちづくりに参加している実感を得たいです。一年間よろしくお祈りします。</p>	<p>再任されました。前年度より、議会傍聴等を多くしたいと思います。</p>
<p>堀切佳寿子さん (弥生北町)</p>	<p>小森 豊弘さん (東のむろ第2)</p>	<p>木村 真之さん (上美生町)</p>	<p>松岡みちよさん (北伏古)</p>	<p>小林 覚さん (錦町)</p>	<p>長谷川 修さん (西園町)</p>	<p>山川 昌則さん (北伏古)</p>	<p>堀井 和宏さん (高岩)</p>	<p>廣田 由美さん (東のむろ第3)</p>	<p>中捨 智也さん (明友)</p>
<p>ご本人の申し出により、写真はありませ</p> <p>議会日よりや、ホームページを活用して、議員の質問や理事者側の回答などをチェックし、町民目線で、議会が正しく運営されているかモニターしたいと思います。</p>	<p>議会モニターを初めてさせていただきます。どのように町政が行われているかを学びたいと思います。</p>	<p>少しでも芽室町の活性化にお役に立てることがあれば参加したいと思います！</p>	<p>何も分かりませんが、議会について勉強していきたいと思っています。</p>	<p>自分が議会と行政の懸け橋になり、より良い町になるように頑張ります。</p>	<p>芽室町をより住みよいまちにするため、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みに期待しております！</p>	<p>昨年に引き続き、モニターをさせていただき、芽室町や議会のことを発信する手伝いができればと思います。</p>	<p>積極的な議会活動を、どうやったら町民に伝えやすくなるのか、一町民として協力できればと思っています。</p>	<p>昨年度はとて有意味な経験をする事ができました。今年もみなさんと話し合える機会を楽しみにしています。</p>	<p>議会モニターを1年間参加してみて、議員の皆さまの活動がよくわかりました。また、議会と行政の関係を理解したうえで、議会からの提言の必要性を感じました。まだまだ勉強不足ですが、町民としての意見を伝えるよう一年間勉強していきたいと思っています。</p>

七人の議員が登壇

一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議(6・9・12・3月)で一般質問することができます。

6月15日、16日。6月定例会議で7人の議員が一般質問を行いました。各議員が思う町政に対する課題や考えを質問しました。本紙では、各議員の質問内容と、町などからの答弁をお伝えします。



目次

P.5 立川 美穂 議員

- ①市街地におけるゴミステーションのあり方について
- ②「給食日本一のまち」を目指した、あらゆる世代への良質な給食提供について

P.6 渡辺洋一郎 議員

- ①移住・定住施策の取組みについて

P.7 中村 和宏 議員

- ①教員の多忙化の実態と今後の方策について

P.8 吉田 敏郎 議員

- ①芽室町の課題解決における地域おこし協力隊員の活用について

P.9 正村紀美子 議員

- ①めむろ版ネウボラと発達支援システムの今後のあり方について
- ②長期継続契約の課題と今後の運用について

P.10 梶澤 幸治 議員

- ①農業の振興について
- ②武道の練習場の確保について

P.11 梅津 伸子 議員

- ①広島・長崎の被爆者が訴える核兵器禁止・廃絶への支援強化を
- ②子どもの交通安全対策について

市街地におけるゴミステーションのあり方についてどう考えているか

町長／従来のごみネットへの助成継続を基本として、町内会等からご相談があった場合には、引き続き個別対応させていただく考えです。



立川 美穂 議員

問 住民ニーズの高い箱型ごみステーション設置助成事業へ向けた検討を進める時期と考えるが見解は。
② 町民と町との間のゴミ収集に対する委託関係を明確にすることで資源ごみを持ち去る業者に対して法的な根拠を持った対応ができるようになるが見解は。

答 現在、箱型ごみステーションの設置は共同住宅や私有地に限られ、設置費用の助成はなく、利用される住民の皆さんで管理されています。町としても、設置場所がない町内会等との公平性、設置することによる、外部からのごみの不法投棄防止やごみの滞留等による環境悪化の危険性のおそれから、従来のネットによる助成継続を基本として、町内会等からご相談があった場合には、引き続き個別対応させていただく考えです。
② 資源ごみの持ち去りは減少傾向ではありますが、今後も専門家の見解を求めながら、ごみの減量化、資源化、適正処理による資源循環型社会の実現に向けたまちづくりに取り組む考えです。

問 箱型ごみステーション設置は、町内会連合会からも、購入費用の助成を検討してほしいという要望書が今年出された。動物に荒らされない、ストレスのない日常生活を送りたいというのが地域住民の一番の願いではないのか。箱形を設置できるように現在の場所についての検討も必要ではないか。また、町内会未加入者がゴミステーション利用することへの地域の見解も一律ではない。町がゴミステーションのあり方に対して要綱を定める等の対応が今後必要となるのでは。

答 町内会連合会から箱型の要望は出ていません。出ているのは、ネットの全額補助の要望です。また、動物によるごみの飛散等は、ネットの運用が十分でないことが原因です。今後は他自治体の取り組みについての研究を継続していきたいと考えています。

(注)その後町長から町内会連合会からの要望について答弁内容の訂正あり

「給食日本一のまち」を目指した、あらゆる世代への良質な給食提供についてどう取り組む考えか

町長／今後も食に関する意識が高まるよう、食育の推進を図ります。

携 携わる栄養士が連携し、各ステーションにおいて良質な給食提供を行うことで「食の宝庫芽室町」が全国に周知されることにもつながるのではないかと

答 ①サービスの利用決定にあたっては、健康状態により一般食と治療食のどちらが適切かを判断しており、治療食については管理栄養士を配置する町外事業者に、一般食が適切な方へは、町内の2事業者の献立から選んでご利用いただいています。町の管理栄養士が指導に関わっていない状況については、一般食であるがゆえの取り扱いです。
②平成17年の食育基本法制定を背景に、平成18年から保育所と学校の管理栄養士及び栄養士が一堂に会する機会として「栄養業務担当者連絡会議」を設置し、年3回会議を開催し、各施設での現状や課題、取り組みに関する情報共有やスキルアップを目指した学習会の開催、共同事業の企画立案を実施しています。今後は、あらゆる世代の町民の皆さんに、食に関する意識が高まるよう、食育の推進を図っていきます。

問 ①地域高齢者への配食サービス事業について、献立内容は調理委託業者へ一任され、町の管理栄養士が栄養面での指導などに関わっていない。
高齢者が食を通じ、より長く、健康で自分らしい生活を過ごすために、国の指針の対象にはならないが町内の配食サービスを行う事業者に対し食育を支援することが重要と考えるが、見解は。
②多様な世代の町民の食に

箱型ゴミステーションは法律に抵触しない場所に設置することで課題解決に向かいます。町有地や私有地など適した場所に設置できるように地域と協力を進めるべきと考えます。地域高齢者の健康寿命延伸には「食」は重要な位置づけにあると考えます。「食の町」芽室町らしい施策の推進を期待します。



渡辺洋一郎 議員

移住・定住施策をどう取組む考えか

町長／第5期総合計画の主要課題として今後の方策を検討していきたいと考えます。

問 ①地域の人・モノ・環境の魅力を引き出して伝えていく「シティプロモーション」の推進や情報発信の工夫について、どのように取組む考えか。
②移住・定住希望者に対するワンストップの総合相談窓口の設置により、よりきめ細やかな対応が可能と考えるが、どのように取組む考えか。
③移住希望者への支援メニューの創設や、定住促進に向けたさまざまなメニューの充実、情報発信など、どのように取組んでいく考えか。

答 ①移住・定住を促進していくためには、芽室という町を知ってもらうことが第一であり、情報発信の手法に工夫が必要であるという考えは同じです。昨年度からシティプロモーションの概念の導入について、セミナー受講や先進地調査など検討を行っています。現在は、「町のPR」広報」という視点から検討に入っていますが、移住・定住の取り組みは、全庁的かつ総合的に検討を行っています。

②昨年度から検討に入っていますが、現状の課題として、(1)個別ニーズに対応できる専任職員の配置が必要であること(2)移住体験の条件づくりが必要であること(3)首都圏との安定的ネットワークづくりが必要であること、以上の3点があると考えます。
③現行の施策を推進するとともに、平成28年1月に管内全市町村や各関係機関が参画して設置した「十勝管内移住・定住推進連絡協議会」において情報共有や意見交換を行っていき考えています。

問 本町の魅力はたくさんあるが、認知度、知名度を向上するためには、メインとなるものが必要。例えば、上富良野町は「四季彩のまちかみづら」の、東川町は「写真の町東川町」というフレーズを全面に押し出している。芽室町は何の町だと考えるか。
答 「農業のまち芽室町」とらえています。

問 では、外部から役場への電話を受ける際に、「農業のまち芽室町です。」と一言でPRすることができるとは。
答 現在全ての電話に対してそういった出方はしていませんが、電話をくださる方の立ち位置や目的に応じて「農業が基幹産業の町、芽室なんですよ。」という言い方はよくさせていただいています。

問 本町のホームページは、移住に関する情報が他市町村と比べても少ないと感じるが。
答 インターネット情報は、随時更新しています。スピ

ード感を持って、時代の流れに対応できるような見直しの体制づくりを常に検証していかねければならないと考えています。
問 交流人口を増やすための取り組みは。
答 今一番力をいれているのは「障がいがあっても等しく生きていける町」だということの発信です。一般的な観光とは違う趣旨ですが、特別支援学校の修学旅行等にもつながる可能性が潜在的にはうかがえます。

問 次期総合計画策定に向けても、町民の皆さんのアイデア、意見なども聞きながら進めていっていただきたいと思う。
答 シティプロモーションの概念などを大切にしながら、変わっていく時代に合わせた計画をどう作っていくか、この視点が大切であると認識しています。



中村 和宏 議員

教員の多忙化の実態と今後の方策をどう考えているか

教育長／定時退勤日や時間外勤務等縮減強調月間等の実施を、各学校に対して指導します。

問 ①文科省は、平成28年度の教員勤務実態調査のうち勤務時間について、速報値(ページ左下参照)を公表した。この結果について見解は。
②本町における部活動の実態、状況について見解は。
③教員の多忙化の現状は本町においても重要な教育課題であると考えられるが、見解は。

答 ①本町においても多忙化の傾向にあると考えます。教員一人ひとりのワークライフバランスに配慮し、心身ともに健康で、学習指導や生徒指導など本来の教育活動に専念できる環境を整えることが喫緊の課題であると認識しています。
②顧問教員は平日1時間30分から2時間、休日は3時間程度、部活動の指導に当たっています。中学校における部活動は、学校教育活動の中でも大変有意義なものです。第一に顧問教諭の理解と協力がなければ成り立ちません。今後も部活動休止日の設定や活動時間の工夫などの取り組みが有効

なものとなるよう、各学校とも連携し、工夫改善に努めます。
③北海道教育委員会による教職員定数加配や本町独自の施策である小学校第3、4学年の35人以下学級、特別な支援を必要とする児童生徒への教育活動指導助手の配置などにより教職員の多忙化軽減に努めています。また、「十勝管内学校職員の時間外勤務・業務縮減等推進会議」では、時間外勤務等の縮減に向けた取り組みとして定時退勤日や時間外勤務等縮減強調月間等の実施を重点目標としており、教育委員会においても、各学校に対してそれらの実施を指導することとしています。

問 今後は、国の結果分析
答 また、このことは、一町村教育委員会ですべて解決できる問題ではないことから、管内の教育委員会連絡協議会や北海道町村教育委員会連合会を通じ、機会あるごとに国や道の教育委員会へ問題提起をしていきたいと考えています。

問 部活動休止日の設定や活動時間の縮減の取り組み状況は。
答 部活動の休止日設定については、北海道全体では、72・3%、活動時間の縮減については、94・6%の中学校が取組んでいます。(平成28年度)本町で3つの中学校全てで取り組んでいます。

問 学校で一日の多くを過ごす児童・生徒たちにとっては、教職員は本当に身近な大人である。そういった

点からも、もっと先生方が児童・生徒たちと向き合う時間、話をすることができると考えます。
答 現在教職員は、教科指導、生徒指導に加え、部活動指導や交通安全に関する指導など幅広い業務を担っています。複雑化、多様化する学校現場ではありますが、そういったところを解消することが、児童生徒に向きあう時間確保につながると考えます。

平成28年度の公立学校教員勤務実態調査結果(文科省速報値)
1週間あたりの教諭の平均労働時間は、小学校で57時間25分、中学校で63時間18分、平日の平均勤務時間は小学校が11時間15分、中学校が11時間32分。過労死ラインとされる月80時間以上の残業を余儀なくされている教諭は、小学校で3割、中学校では6割に及んでいる現状も明らかになった。

めむろ版ネウボラと発達支援システムの今後の展望は

町長／教育委員会と連携し、発達にサポートが必要な子どもへの支援体制をさらに充実させていきます。



正村紀美子 議員

問 ①今後「めむろ版ネウボラ」はどのような事業展開を目指すのか。
 ※ネウボラ：妊娠期から就学前の子ども家族を対象とする支援制度

答 障がい者の雇用という、町が今取り組んでいる事業の要点を担ったのがこの時の協力隊員であり、その時にプログラム化した内容で現在進行し、現在に至って

問 ②公立芽室病院と子育て施設との連携強化は進むのか。
 ③発達支援システムの達成度はどのようか。
 ④今後どのような事業展開を目指すのか。

答 ①子育て期における支援として、一時預かりサービスや相談・情報提供をすでに実施しています。めむろ子育て世代包括支援センター[※]では、子どもの権利侵害という視点から児童虐待予防や早期発見に力を入れていきたいです。
 ※めむろ子育て世代包括支援センター：妊娠期から子育て期にわたる支援を行なう拠点
 ②今年度から実施している産後ケア事業について、公立芽室病院と協議をすすめています。
 ③個別支援計画やサポートファイルの作成、幼稚園・

芽室町の課題解決に、地域おこし協力隊員を活用してはどうか

町長／観光分野において平成30年度からの採用に向け、内部検討を進めているところです。



吉田 敏郎 議員

問 国が「人材」と「財源」を付けて地方自治体を支援している「地域おこし協力隊事業」で芽室町の課題解決に活用しては。

答 本町でも地域課題の明確化と解決に当たる人材確保を検討し続け、観光分野において平成30年度からの採用に向け、内部検討を進めています。
 今後、あらゆる分野において、制度目的に合った活用の検討を進めたいと考えています。

問 過去に本町でも協力隊員がいましたが、その方には、福祉と観光の連携によるまちづくりをお願いしていたと思うが、それが完全に実らないまま、任期半ばで退任された。その方が残っていた成果は現在のどのようになっているのか。

答 障がい者の雇用という、町が今取り組んでいる事業の要点を担ったのがこの時の協力隊員であり、その時にプログラム化した内容で現在進行し、現在に至って

問 ①今後「めむろ版ネウボラ」はどのような事業展開を目指すのか。
 ※ネウボラ：妊娠期から就学前の子ども家族を対象とする支援制度

答 障がい者の雇用という、町が今取り組んでいる事業の要点を担ったのがこの時の協力隊員であり、その時にプログラム化した内容で現在進行し、現在に至って

問 ②公立芽室病院と子育て施設との連携強化は進むのか。
 ③発達支援システムの達成度はどのようか。
 ④今後どのような事業展開を目指すのか。

答 障がい者の雇用という、町が今取り組んでいる事業の要点を担ったのがこの時の協力隊員であり、その時にプログラム化した内容で現在進行し、現在に至って

問 観光分野以外での活用検討はしていないのか。

答 内部検討していく段階で、常にこの制度を念頭に置いて、非常に有効であるというような事業が見え出したら直ちに結び付け検討していきたいと考えています。

問 活用にあたって町は、もう少し柔軟に、都会の若者にチャレンジしていただく気持が必要ではないか。準備は当然大切だが、失敗を恐れずに、地域課題の解決のために積極的に雇うという姿勢が大事だと思うか。

答 全くそのとおりだと私も思っています。しかし、お願いする行政も、受けとめる地域社会も、その課題



問 子ども、高齢者と対象者ごとに区分けするのはなく、これからは家族をまるとサポートする体制が必要と考えるがいかがか。

答 第5期総合計画には家族が抱えている課題をサポートしていくという理念も必要だと考えます。

問 ①「芽室町長期継続契約を締結することができるとは、長期継続契約に必要事項は規則で定める」としているが、平成19年の条例制定以降、規則の制定はなされていない。長期継続契約に該当する契約はどのように判断しているのか。
 ②長期継続契約は、契約期間を複数年とすることができ。町は今後も契約期間を単年度とする方針か。
 ③長期継続契約は、債務負担行為[※]の設定がなくとも契約締結できる。複数年契約を実施した場合、議会の

長期継続契約の課題と今後の運用方針は

町長／長期継続契約に該当する契約を規則で定めていきます。

問 ①「芽室町長期継続契約を締結することができるとは、長期継続契約に必要事項は規則で定める」としているが、平成19年の条例制定以降、規則の制定はなされていない。長期継続契約に該当する契約はどのように判断しているのか。
 ②長期継続契約は、契約期間を複数年とすることができ。町は今後も契約期間を単年度とする方針か。
 ③長期継続契約は、債務負担行為[※]の設定がなくとも契約締結できる。複数年契約を実施した場合、議会の

答 ①現在「該当する業務の基準」に照らして判断していますが、今後は規則で定め明確化する必要があります。
 ②費用対効果や安定した良質なサービス確保、商習慣などを考慮し、適切な契約期間の設定を行なっていく。
 ③長期継続契約は、債務負担行為[※]がなくても契約締結できる。法に定める手続以外についても十分検討した上で対応していきます。

用語解説

債務負担行為：予算は通常、単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せず、後の年度においても負担し支出をしななければならない場合には、あらかじめ年度の債務(負担)支出を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。

地域おこし協力隊員

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方地域に、都市等に住民人材を積極的に受け入れ、地域の課題解決(地域協力活動)を行ってもらうとともに、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地方地域への定住・定着を図り、地方地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした国の制度。



地域おこし協力隊員は全国で約4,000名が活躍し、十勝管内でも約100名が活躍しています。ふるさと納税で活気ある上土幌町には17名が様々な分野で活動し、町に良い刺激を与えているようです。

町の事業は、税金の再配分の結果です。町民福祉をさらに向上させる事業となるよう、今後もしっかりとチェックしていきます。

広島・長崎の被爆者が訴える 核兵器禁止・廃絶への支援強化を

町長／我が国が安心して暮らせる平和な社会が恒久的に
続くことを強く願っています。



梅津 伸子 議員

問 ①「平和・非核宣言の町」「平和市長会議」加盟の町として取り組みについての認識は。

答 ①私は、我が国が安心して暮らせる平和な社会が恒久的に続くことを強く願っています。

②今後の取り組みの一例として、非核・平和宣言の町を啓発するために、町のシンボルの一つとして、芽室町公共サイン整備構想との整合性を図った、整備計画の策定を検討しています。

問 こうした基本的なことについての長年の取り組みの成果をやはり行政としてもしっかりと確認すべきという考えはどうか。

答 宣言したときの目的に合わせよう評価していくのかということが大切だと思っています。そういう意味では、一般政策のように評価するものは性格

農業の振興について、現状と課題、その対策をどう考えているか

町長／現状と課題は把握しています。今後も農業者、
関係機関と連携し、課題解決に努めます。



梶澤 幸治 議員

問 ①雇用労働力確保及び生産組織の充実について現状の課題と今後の対策は。

答 ①近年の本町農業は、後継者が就農した農家では、耕種・畜産部門ともに経営規模が拡大傾向にあり、さらに、収益性の高い作付増により、家族労働力のみでは補えない状況があると考えます。

②芽室町酪農基盤整備構想を策定中であり酪農家の皆さんをはじめ、JAめむろとも協議しながら、問題整理と今後の対策を具体的に検討します。

③最重要課題は、昨年の災害による農地の復旧で、被災した農地が以前の肥沃な農地に完全復旧するまでは、

子どもの交通安全対策をどのように 取り組む考えか

町長／日ごろから教育委員会と十分連携を図り、
緊急的、日常的な対応に取り組んでいます。

問 ①町内において、住民等から交通安全対策を求められている箇所等、現状についての認識は。

答 ①平成7年から交通安全対策を求められている箇所は約130カ所あります。町では、通報や要望を受けた際には、速やかに関係機関と情報共有し、現状把握、確認後、解決に向けた協議を図っています。しかし、通報や要望の内容は、町が事業主体でない要望が多く、町として速やかに実施できる方策を検討、判断するなど、段階的な対応を視野に入れて解決を目指す工夫をしています。

③ハード対策として、関係法令等の基準を満たす道路構造等の維持と確保。ソフト対策として、道路環境に応じた交通安全の指導、啓発事業実施を並行させるなど、複数の方策を組み合わ

災害復旧事業終了後も継続した土地改良事業などによる土づくりが必要で、国や道と協議しながら、早期完全復旧に努めます。

輪作体系は、畑作4品の作付バランスは年々変動している状況にあり、課題と考えます。

今後も農業基盤整備や輪作体系の維持は、営農指導も含め、計画的、継続的に進めます。

問 昨年の大雨で被災した農地復旧の現状と将来の見通しは。

答 計画通り復旧は進み、まずは災害復旧を優先し、その後、土地改良、土づくりなど基盤整備に向け努めます。

問 輪作維持における、てん菜作付奨励策の評価は。

答 作付は横ばいというところで一定の評価をしていますが、今年までの経過を振り返り、来年以降に向けた考えを定めます。

武道の練習場不足を どう考えているか

教育長／各団体の理解のもと、
利用調整がされています。

問 ①武道振興についての認識は。

答 ①武道は、相手を尊重する気持ち、技能の習得などを通して礼法を身につけるなど、自己形成を重視するとともに、武道の伝統的側面を通して日本の伝統や固有の文化を習得するという考え方もあり、子どもたちの健やかな成長過程における武道の振興は有意義なものがあると認識をしています。

②総合体育館第2アリーナの使用状況の認識は。

答 ①武道は、相手を尊重する気持ち、技能の習得などを通して礼法を身につけるなど、自己形成を重視するとともに、武道の伝統的側面を通して日本の伝統や固有の文化を習得するという考え方もあり、子どもたちの健やかな成長過程における武道の振興は有意義なものがあると認識をしています。

問 ①子どもの通学路における安全対策強化についての課題と解決策についての認識は。

答 ①130カ所の要望のうち、解決した箇所、もしくは何か所あるのか。

答 信号機が3カ所、一時停止標識が5カ所、横断歩道の設置が1カ所改善されています。

問 その他の場所の改善の見通しは。

答 継続して強い要望があるところ、迅速性を求められているところは今のところはそれほどないというふうに考えています。可能なものは要望として国など関係機関に継続して要望を上げるものは上げていきます。

②少年団活動は、練習日や練習時間のあり方も含め、子どもや保護者、指導者間で運営方針や指導理念を理解し合いながら活動を行っているものです。

これらのことを踏まえ、各公共施設の利用調整がなされているものと認識をしております。

問 中学校での武道必修化の成果は。

答 十分に導入の目的を果たしていると考えます。

問 少年団等での指導者不足に対する支援は。

答 指導者育成は難しいと考えますが、今後も育成に努めます。

問 練習回数を増やすため空いている公共施設の活用はどうか。

答 施設の利用調整会議で利用団体の意見を聞いて調整していますが、増やしたいなど要望がありましたら、他の施設など調整できるものは調整していきたいと思

一般質問を終えて 昨年党町議団で調査、今年も公安委員会に要請、両こどもセンター前に「飛び出し注意」ののぼりが設置されました。大切な子どもたち、地域みんなで見守りを。

一般質問を終えて 「農業王国めむろ」をうたう芽室町。しかし残念ながら町独自の農業振興計画が策定されていません。将来の農業振興のためにも明確なビジョンの策定が必要と考えます。

議会白書 平成29年7月分 延べ18時間51分活動しました！

会議名		日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
本 会 議	7月臨時会議	7月18日 10:30～11:47	0:15	1:02	・専決処分について報告の件 ・平成29年度芽室町一般会計補正予算(第4号)他	2	(79)
		7月13日 13:30～14:19	0:00	0:49	・平成29年度第1回議会モニター会議について ・議会報告と町民との意見交換会の実施について	2	(59)
全 員 協 議 会	第3回	7月13日 14:40～16:12	0:13	1:19	・台風被災企業からの要望対応について ・公共施設等総合管理計画の見直しについて ・合併処理浄化槽基本計画の策定について	3	(59)
		7月19日 9:30～16:00	1:30	5:00	・町内施設視察について ・農作物等生育状況調査について	0	※
		7月24日 9:30～11:16	0:18	1:28	・水害対応タイムラインについて ・避難所運営マニュアルの策定について ・地域防災計画の改正について	1	(24)
常 任 委 員 会	総務 経済	7月18日 13:00～13:29	0:02	0:27	・芽室幼稚園園舎建て替え事業の進捗状況について ・芽室中学校体育館改修工事に伴う体育施設等の代替について	2	(79)
		7月18日 13:00～13:29	0:02	0:27	・芽室幼稚園園舎建て替え事業の進捗状況について ・芽室中学校体育館改修工事に伴う体育施設等の代替について	2	(79)
議 会 運 営 委 員 会	第7回	7月3日 9:30～11:30	0:16	1:44	・議会だより7月号について ・議会だより8月号の編集企画について 他	1	47
		7月11日 9:30～10:13	0:01	0:42	・平成29年芽室町議会定例会7月臨時会議の運営について ・6月定例会議の振り返りについて 他	0	73
		7月24日 13:30～14:02	0:00	0:32	・議員研修について	0	(24)
予 算 決 算 特 別 委 員 会	第4回	7月18日 10:38～11:44	0:03	1:03	・平成29年度芽室町一般会計補正予算(第4号) ・平成29年度芽室町上水道事業会計補正予算(第1号)	2	(79)
		7月18日 10:38～11:44	0:03	1:03	・平成29年度芽室町一般会計補正予算(第4号) ・平成29年度芽室町上水道事業会計補正予算(第1号)	2	(79)
小 計		16:44	2:38	14:06		計13	平均31.3
議 員 研 修 会	北海道町村議会 議長会議員 研 修 会	7月4日 13:00～16:30	0:15	2:45	・慶應義塾大学経済学部教授 金子 勝 氏 『トランプ政権と日本経済—地域経済への影響は?』 ・日本放送協会解説副委員長 島田 敏男 氏 『日本政治の昨日・今日・明日』	—	—
		7月21日 18:30～20:30	0	2:00	・平成29年度政策形成サイクル抽出事業の説明 ・モニターとの意見交換	—	—
小 計		5:00	0:15	4:45		—	—
合 計		21:44	2:53	18:51		計13	平均31.3

() 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※インターネット中継を実施しなかった会議

審議した議案と各議員の賛否 7月臨時会議

※広瀬重雄議長は採決には加わりません。青木定之議員は欠席です。

種 類	議 案 名	議 員 名													審 査 結 果	議 決 日		
		渡辺洋一郎	梶澤幸治	立川美穂	早苗豊	中村和宏	寺町平一	正村紀美子	吉田敏郎	中野武彦	常通直人	梅津伸一	西尾一則	高橋源			柴田正博	
報 告	専決処分について報告の件	報告事項のため、採決はありません													受 理			
議 案	平成29年度芽室町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	7/18
議 案	平成29年度芽室町上水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		

一般会計の補正内容(歳出のみ)

項 目	金 額(円)	主 な 内 容
総 務 管 理 費	1,721,000	九州北部豪雨災害支援職員旅費ほか
農 業 費	6,918,000	地域新エネルギー導入加速化調査委託料ほか
予 備 費	△5,639,000	
公共土木施設災害復旧費	6,740,000	災害復旧調査設計委託料
その他公用公共施設災害復旧費	1,696,000	新嵐山排水管災害復旧工事実施設計委託料
文教施設災害復旧費	11,319,000	美生川河川敷公園パークゴルフ場災害復旧工事実施設計等委託料



7月5日に発生した九州北部豪雨により甚大な被害を受けた自治体への支援職員派遣費用として、1回1人の派遣14日間、のべ4回派遣を想定し、旅費128万2千円、現地でのレンタカー使用料33万5千円、同燃料費10万4千円の補正予算が計上された。

九州北部豪雨災害へ支援職員の派遣費計上

7月18日、補正予算を議題とした臨時会議が開催されました。一般会計及び上水道事業会計の補正予算案が町から提案され、質疑などの審議の結果、全件を原案どおり可決しました。質疑の一部(要約)を掲載します。

一般会計は2,275万5千円増額、総額118億4,721万8千円

平成29年度7月2会計の補正予算案、原案可決。

水害サミットとは
大水害を経験した自治体の首長らが、防災や減災のあり方を意見交換をする会議。

問 今回の派遣費用計上に至った経過及び、派遣の内容について。
答 本町が本年度初めて参加した水害サミット※からの支援依頼に応えるもので、7月10日時点では、大分県日田市への被災家屋調査員の派遣及び、福岡県朝倉市への派遣(業務未定)で、今後、両市から正式に支援要請があった場合に迅速に対応できるように必要な予算を計上するものです。

問 全国でさまざまな災害が起きている現状から災害に対する芽室町の基本的な支援姿勢を条例など制定し、ある程度基準を考えるべきではないか。
答 災害にはさまざまな状況があることから、今のところ条例などによる基準制定は考えておらず、今回のように関係する団体、機関から要請があった場合、その状況を踏まえ、町として何ができるのか、その都度判断し、昨年本町が被災した時、多くの支援を受けた感謝の気持ちと、経験から得た知見を活かし、可能な限り要請に応えたいです。



問 工事の時期と、財源の見通しは。
答 被災前と同じ18ホールの造成を目指し、今年度内に実施設計を行い、災害復旧の補助金等の活用、その採択に向けて事務手続きを進め、平成30年度以降の工事を想定しています。

問 今回、実施設計委託料を計上する経過は。
答 当初、北海道からは、美生川河川敷の原形復旧ができないという説明を受け、パークゴルフ場復旧は断念してしました。今般、北海道から、他の河川の改修等に伴う砂利等を活用して、美生川河川敷を復旧するという報告をいただき、そのことから、パークゴルフ場の復旧を目指し、今回、実施設計費を計上しました。

美生川パークゴルフ場復旧に向け費用計上
昨年被災した美生川パークゴルフ場復旧費用として1,131万9千円の補正予算計上が計上された。



研修
レポート

7月4日
北海道町村議会議員研修会

全道の議員を対象にした研修会が札幌市で開催され、会場には全道から1,800人の議員、本町からは14人の議員が参加しました。
研修内容は、金子勝氏(慶應義塾大学教授・左写真)、島田敏男氏(NHK解説副委員長)による講演会で、それぞれテレビでもおなじみの講師です。
日本経済・地域経済、日本の政治について、政財界のトップから生の声を聞いている方の講演は真実味、説得力があり、国や大都市が抱える課題は、いずれ私たち国民全体、また地方行政に大きな影響・負担があると改めて気づかされました。

7月21日
HUG研修(避難所運営ゲーム)



地域住民の一人として、災害時の避難所で何をすべきかを学ぶため研修を行いました。
この日は、役場総務課地域安全係の職員を講師に、議員14人が2グループに分かれて研修を行いました。

テーブルの上に避難所の図面を貼り、その図面に避難者の札を1枚ずつ適切な場所に置いていくというものです。避難者の札には氏名、性別、持病などが記載されていて、身体状況などにより、避難所などの場所が適切なものか、課題をみんなで考えて、配置していきます。
「高齢者、障がいをお持ちの方、乳幼児、さらにはペットなど、クリアするべき課題が次々と現れ、現実を想定し、悩みました」などの感想が出ました。



7月19日、総務経済常任委員会では、町内農作物等の生育状況調査をしました。JAめむろをはじめとする町内関係団体・機関との合同調査となりました。
この日は3カ所の農地を回り、芽室町農業振興センター職員等から、新たな農作物や最新の農業技術等の説明を受けました。
トウモロコシの収穫期については、今までは、農家さんの経験則や、毛の色、穂の張り具合などで見極めていましたが、気象情報と過去の平均気温などの情報を活用し、収穫適期を予測するシステムを開発し、現在試行しているとのことでした。
また、てん菜は、今まで春先からビニールハウスで苗を育て、5

表紙写真
7月25日。この日の最高気温は27・8℃。子どもたちは芽室公園で水遊び。カメラを向けるとポーズを決める少年。夢中で撮り続け、決めのポーズに撃たれる。そして、うしろを向き最後の決めポーズ。ご協力ありがとうございました。

畑で説明を受ける参加者



調査
総務経済常任委員会

農作物等生育状況調査
先進農業に驚き!

月頃に畑に移植するのが通常でしたが、直接畑に種をまく機械が開発され、試験栽培されていました。成功すれば、春先の農作業軽減と輪作体系の確立につながるのとのことでした。

本町にはJAめむろをはじめ、数多くの農業研究機関などがあり、今回の調査では、これらの先進農業の一端を知ることができました。



一般質問のその後

過去の定例会議で行った、町の考え方を問う一般質問が、その後、町の政策にどのように反映されたのか追跡します。

事前防災行動計画(タイムライン)の策定

質問

立川美穂議員の質問(平成28年12月一般質問)

事前防災行動計画(タイムライン*)を策定し地域防災計画に盛り込むべきでは

水害や雪害など、災害までの現象が長時間に及び、被害の規模等が想定できる「進行型災害」は早期の段階での情報把握と各機関との連携を持つことで防災と減災が可能になります。

*タイムラインとは、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した防災計画。米国でハリケーン災害の事後検証に基づき考案され、国土交通省が策定を推進している。

答弁

町長答弁(平成28年12月)

検証結果により判断します

現在台風10号の検証を進めているところであり、この検証結果により判断します。

その後

町内中小規模河川の暫定版タイムラインを策定(総務課)

担当課は「平成28年台風10号災害対応検証報告書の中で、タイムラインの導入を検討すると記載しています。以前、タイムライン導入の質疑があり、現在検討しているが、中小規模河川では難しいと回答しました。今回、暫定版ではありますが策定をしました」(平成29年7月総務経済常任委員会)と説明した。

なお、このタイムラインは行政内部の資料であることから、公表はしないが、町民が行動すべきことは広報誌などで周知すること。



サイクリングによる観光振興

質問

渡辺洋一郎議員の質問(平成27年9月一般質問)

芽室遺産である10線防風林の計画的整備と今後の活用について

嵐山から10線防風林に向かい、南下して上美生に抜けるサイクリングコースを設定することで、キャンプ場に滞在している方や、町外から来て芽室町に滞在する方などに芽室の魅力を知っていただくアクティビティになると思います。



答弁

町長答弁(平成27年9月)

今までも、これからも検討していきます

芽室の市街地から嵐山までのサイクリングロードということは、過去から何回か検討してきましたが、今のところ作りにくい状況です。ただ、嵐山と美生道路のラインは、まだ諦めているわけではなく、コースづくりをしたいという思いを持ってます。

その後

平成29年度予算「サイクルツーリズムの推進」として11万9千円を計上(商工観光課)

町長は「これまで観光資源として気づかれなかった地域資源に着目し「食」と「景観」をサイクルツーリズムで結び付け、五感で体験する観光事業の発掘に取り組みます」(平成29年3月議会)と発言。

担当課は「6月までに町、観光物産強化、町民を交えた協議会を設け、その後すぐにルートづくりなどをはじめ10月にはルートを確定したい」また「この事業は3年計画で考え、今年1年目は準備、2年目に発信、3年目に発展と考え、その後は観光物産協会などに引き継ぎたい」(平成29年5月総務経済常任委員会)と発言。



議会が動く!

町民の声を町の政策につなげる

平成29年度 政策形成サイクルの取り組み

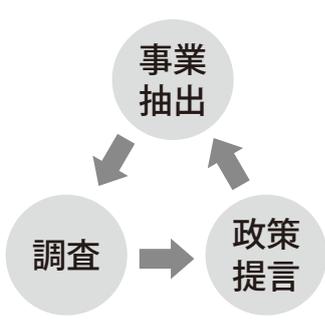
総務経済常任委員会と厚生文教常任委員会は、町が進める政策・事業から、議会として政策提言につなげるべき政策・事業を抽出しました。今後、**町民の声を聴き**、調査を行い、議会として町に政策提言をし、町政への反映を求めていきます。

今年度、総務経済常任委員会では2項目、厚生文教常任委員会では6項目を抽出しました。来年3月の政策提言に向け、調査が始まりました。

政策形成サイクル

議会は毎年度「事業抽出」調査↓「政策提言」を一つのサイクルとして取り組んでいます。

政策形成サイクルのイメージ



総務経済常任委員会の抽出政策

- 1 地域資源を活用した観光の振興
 - ・前年度からの継続事業
 - ・新嵐山スカイパークは現在の総合計画において「地域資源を生かした観光振興には欠かせない施設」と位置付けられている
 - ・町は今後、行政改革推進委員会の専門部会から「行政改革の視点」で新嵐山スカイパークの在り方について答申を受ける予定で、今後の動向については議会として注視する必要がある

※町は今年度から3年計画で「サイクルツーリズム」に取り組むことから、新嵐山スカイパークの在り方とともに、包括的な視点で芽室町の「観光振興」の調査を進める。

2 農村地域公共交通手段

- ・前年度からの継続事業
- ・市街地には「じゃがバス」が運行しているが農村地域における公共交通の手段が乏しいとの町民の声がある

※今後、住民の高齢化が進むとともに、高齢者の移動手段の確保が重要課題と考えることから、他自治体の先進事例などを研究しながら、政策提言に向けて調査を進める。

厚生文教常任委員会の抽出政策

- 1 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展
- 2 高齢者福祉の充実

- ・人権が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるまちづくり(地域包括ケアシステム)を推進していくことは喫緊の課題である
- ・公立芽室病院の果たす役割は重要で、自立に向けた高齢者福祉の充実、体制づくりが求められている

3 スポーツのしやすい環境づくり

- ・プールなど社会体育施設の老朽化が進み、町民からも改善要望が寄せられている。また、美生川パークゴルフ場復旧も町民の関心が高い
- ・生涯にわたり、気軽にスポーツに取り組める環境づくりが求められている

4 学校教育の充実

- ・義務教育の使命は、子どもの「生きる力」を身につけることであり「知識・技能」に加え、学ぶ意欲や、自ら学び、考え、行動し、より良く問題解決するための資質・能力など「確かな学力」が求められている

5 生涯学習の推進

- ・急激な社会変化で、家庭や地域社会の在り方も変容し、子どもの育ちを支える新たな地域の結びつきや学校・家庭・地域の教育力の向上への取り組みが求められている

6 安心して産み育てることができる子育て支援

- ・地域で親や子どもを支える体制づくりにも力を入れる必要がある

編集後記

■台風災害から1年が経ちます。全国各地で自然災害が続ぎ、昨日のことのように思い出されます。先日議会でも避難所運営に関する研修を行いました。日ごろからの準備と自分のこととして考えていくことが大切ですね。



渡辺洋一郎

■好天に恵まれた7月でした。日本一の暑さを記録した日には本当に驚きましたね。小麦を皮切りに町内の畑では次々と収穫の季節を迎えますが、今年はこのまま天気に恵まれた豊稔の年でありますようにと願わずにはいられません。



立川 美穂

■芽室町議会基本条例に基づき町民の皆様との意見交換会を今後行う予定です。貴重なご意見を少しでも政策に反映できるよう議員間討議を活発に行なっています。



中野 武彦

LINE@ 友だちになってね!!
@memuro-gikai2014

芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る

公式 Twitter アカウント @memuro_gikai
公式 facebook ページ http://www.facebook.com/memuro.gikai